

でんでんむし



3月

3月です。桜のつぼみが膨らみ、春の訪れを感じます。まさに外遊びが楽しめる季節となりましたね。ただし、外で遊ぶときは、感染症に留意して、手洗い・消毒、マスク着用、三密防止、ソーシャル・ディスタンスを心がけましょう。

さて、1月（行く）、2月（逃げる）、3月（去る）とは常々言われていますが、令和2年度（2020年度）も、残り一月を切ってしまいました。この1年を振り返ってみて、利用者みなさんのお子さんの成長を実感する今日この頃です。これからもみなさんにとって心地よく、みなさんの輪が広がり、楽しく子育てができるようしっかりとサポートができればと思います。これからもよろしくお祈りします。



～子育てワンポイントアドバイス～ -ことばの始まり-



1歳くらいになると子どもは、「ママ」とか「ウマウマ」とか意味のある言葉を発するようになります。それから次第に言葉の数もふえ、「ウマウマ、オイシイネ」、「オテテ、バッチ」など2語文へと進み、子どもは自分の気持ちを言葉で上手に表現できるようになっていきます。しかし個人差は大きいのです。他の子どもさんと比較して一喜一憂せず、たどたどしい表現でも子どもの表現したい気持ちを十分聴いてあげることが大切です。

育児書や発達心理学の本などには、子どもが何か月になると「ウマウマ」などの一語文から「ウマウマほしい」、「ウマウマあった」などの二語文に移っていくとか、何歳になると名詞や動詞はいくつ位使えるようになるとか書いてありますが、およその目安としては参考になるでしょう。しかし、言葉の発達にとって大切なことは、子どもの中に「伝えたい気持ち」が起こり、「きいてもらった」と喜びをたくさん経験することです。目を合わせ、笑顔で、たくさん語りかけてくださいね。



- 3月3日は“耳の日” 耳掃除のポイントは？ -

1. 耳の奥まで綿棒を入れない。(鼓膜を傷つけたり、逆に耳垢を奥に押し込んだりすることもあるようです)
2. 周りをよく見る。(耳掃除をしている時に、ペットやきょうだいなどがぶつかりけがをすることもあります。)
3. 綿棒は子どもの手の届かない所に置く。(子どもが綿棒や耳かきを自分の耳の中に入れてけがをすることもあります。)



～ 子育て支援センター「でんでんむし」の2月のイベントから ～

18日(木)「子育て講演会」～子どもたちと楽しく手遊び・リズム遊び～

佐賀女子短期大学の山田久三江先生を講師としてお迎えしました。話の中で、「童謡・手遊びを通して、ママの声で包み込むこと、声のシャワーをたっぷりかけること。そうすることで子どもは安心し心が満たされ、自分の意思で遊び出す…このことは小中高の学びにつながる。噛むこと、食べることは言葉の始まりである。ママやパパの声は心の栄養である。」がとても印象に残りました。

第7回「ママカフェ」11日(木)

今年度最後のママカフェでした。6組、13名の参加がありました。利用者支援の先生方も参加され、スタッフも交え、楽しいひとときでした。お菓子をつまみ、お茶を飲み…子どもたちも楽しんでくれました。新年度、第1回目は4月8日(木)の予定です。お待ちしております。

21日(日)児童センター文化祭 ペープサート劇「おむすびころりん」

当日の文化祭では、支援センター“でんでんむし”は、ペープサート劇「おむすびころりん」をしました。歌やペープサートの動きに子どもたちは大喜び。とても楽しんでいただきました。

今月のメニュー

- 4日 「ひなまつり」 10:30～
- 11日 「赤ちゃん広場」 13:30～
内容:乳幼児期の虫歯予防
講師:井上歯科医院 井上院長先生、歯科衛生士の先生
※赤ちゃん広場は利用者支援事業、ファミサポとの共催です。
- 16日 「お誕生日おめでとう」 10:30～※児童館と合同
- 18日 「子育て講演会」“発達の気になる”を考える 10:30～
講師:佐賀女子短期大学 准教授 中山政弘先生
- 18日 「食育相談会」 14:30～
講師:佐賀女子短期大学 助手 西原由紀先生
※全ての講座、イベントで託児あります。